

# 長畝ふるさと通信



【2023年8月号】

## ■ これまでに経験した事の無い暑さと雨不足

7月20日に梅雨明けし、その後暑い日が続いたと思ったら、それからずーと暑かった。佐渡の平年8月の平均気温は25～26度位なのですが、今年の8月は連日30度を超える猛暑日が続きました。ほぼ毎日「熱中症警戒アラート」が発表され、最高気温は38.5度と観測史上最高を記録したそうです。この暑さで乳牛はバテて餌を食べなくなり乳が出ず、スーパーの店頭から牛乳の1ℓパックが消えたほどです。蝉は気温35度を超えると鳴かなくなるそうですが、まさに今年の夏は静かだった気がします。また、8月は猛暑に加え雨がほとんど降りませんでした。出穂から登熟期を迎えるこの時期、稲にとって水は不可欠なのですが雨が降らないおかげで絶対量が不足しています。全国ネットのテレビでは連日のように新潟県の水不足によるコメ品質の低下が報道されました。佐渡においても水不足は深刻で「日枯れ」の圃場も多く散見されています。組合では全圃場を4ブロックに分け、連日毎朝6時から水が不足している田んぼを優先的に水配して回り、何とか日枯れは回避していますが、高温障害は避けられないと思っています。

最高気温も日照りもこれまでに経験した事の無い異常事態です。世界中で信じられない大雨や山火事などの自然災害が猛威を振るっていますが、これが常態化したら人類はどうなってしまうのでしょうか。ネイチャーポジティブなんて呑気な事では済まない気がしてきました。月への移住を真剣に考えなくては・・・



## ■ 4年ぶりに現地視察交流会を開催

8月27日、コロナで実施できなかった米屋さんを招いての現地視察交流会を4年ぶりに開催しました。今回は大阪から2件、山梨から1件の米屋さんに参加してくれました。連日報道される県内産米の品質低下による風評被害を心配する声や、販売単価がなかなか値上げできない事情などをお聞きしました。私たち生産者にとって産地を理解し、拡販してくれる米屋さんやご愛顧いただいている消費者のみなさんが何よりも大切な存在です。これからも交流の場を積極的に設けていきたいと考えています。そういえば、昔は収穫感謝祭に消費者の皆さんから参加して頂いたこともありました。また、ご案内したいと思いますので、その節はよろしくをお願いします。



## ■ シャインマスカットようやく販売できました

育苗ハウスを利用してシャインマスカットの栽培を始めたのは4年前。1～2年は試行錯誤でほとんど実らず、昨年は順調に生育していたのですが、夏の暑い日に穂肥散布に夢中になりすぎてハウスを開けることを忘れて、高温で一気に実が枯れてしまうという不始末をやらせてしまいました。今年はその反省を踏まえ、慎重に管理を続けた結果、市場出荷やAコープの直売所への販売にこぎ着けることができました。人気のシャインマスカットは島内でも多くの生産者が育苗ハウスで栽培しており、ピーク時には売り場中がシャイン



しています。ベテラン生産者の商品からすると見劣りする我が社は価格を下げて一気に売り逃げる戦法を取りました。一般的にはひと房2,000円程度の値が付けられていますが、わが社は2割安。作戦が功を奏して連日完売。一安心です。

## ■ 新米コシヒカリは10月中旬からお届けします。

冒頭お伝えしたように今年はこれまでに経験した事の無い異常気象に見舞われています。連日早朝から水配するなどやれることはやりながら、少しでも品質低下を避けるよう努力はしたつもりですが、自然界の脅威にはかなわないようです。どうかご理解ください。

おかわりは自由です。